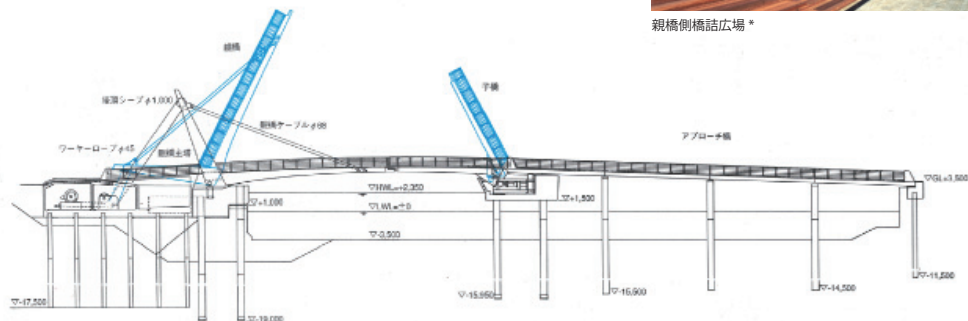


門司港第一船溜まりと関門海峡とをつなぐ航路幅約 30m 水路にかかる跳開式可動橋（親橋・橋長 24.1m、子橋・同 14.1m）とアプローチ部（70m）、計 108.05m の歩行者専用橋。橋全体のシルエットの美しさ、固定時・跳開時にもシンボルとなる形態、動く機構やプロセスが市民にもわかりやすいことに配慮したデザインとした。橋の色彩は周囲の自然環境、歴史的建物、航行する船の色との関係からブルー・パレット色とし、具体的な色決めは現地実験及び「西海岸はね橋検討委員会」の検討を経て最終的に決定した。



親橋側橋詰広場*



立・断面図



はね橋操作室*



高欄



第一船溜まりからの眺め

経緯 環境西海岸（連絡橋）詳細設計協力／㈱日本港湾コンサルタント '91.1～3／はね橋景観検討委員会（委員長・山本宏、委員・佐々木葉、大坪和子、中野恒明、ほか）
諸元 所在地：北九州市門司区港町 発注：北九州市港湾局 全長：108.05m 全幅員：4.5～6.0m 共同設計：日本港湾コンサルタント 施工：奥村組・本間組（下部工）新日本製鉄・川崎重工業（上部工） 工事期間：'91.12～'93.10／撮影：*岡本公二（テケ・スタジオ） 担当：中野、萩原、松村、重山、関本、金光